令和 7(2025)年度短大生調査〈短期大学基準協会〉による学生の学修時間の状況

R8.2.27　総合教育センター・IR センター

Web での調査回答になって3年目となるが、各学科や事務局の働きかけで、多くの学生の回答を集計することができた。一部の学科学年で回答率が低かったのは残念である。

本学の今年度の学科別の結果は、2,3 年次生の前年結果と比較できるように示した。

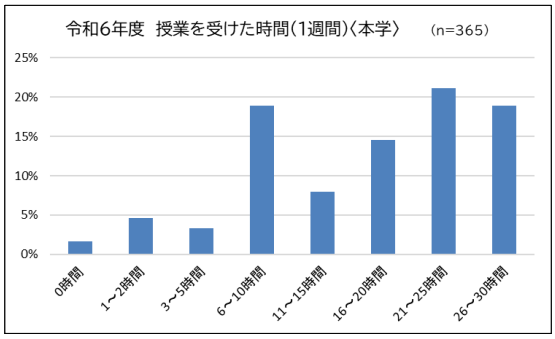
どの学科においても、「授業外学修」の時間が増える傾向がみられ、学びの向上がうかがえる。

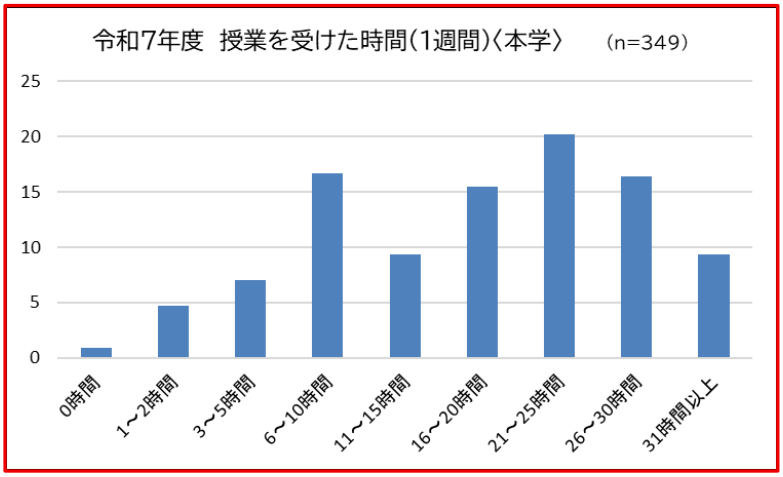
※右表は、調査数と在籍数を示したものである。

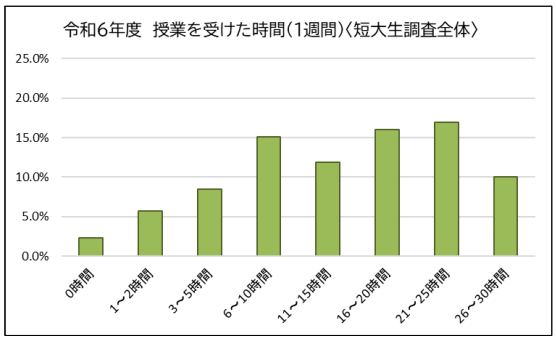
2025短大生調査数(在籍数)　(在籍数2025.11現在)

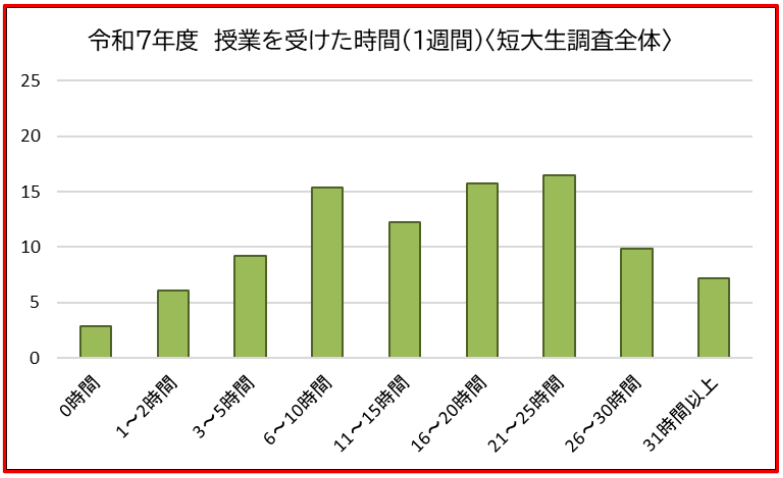
	1年	2年	3年	計
幼教	42(42)	33(35)	30(38)	105(115)
デ美	47(52)	31(45)		78(97)
音総	7(31)	44(45)		51(76)
歯科	49(52)	24(24)	42(42)	115(118)
計	145(177)	132(149)	72(80)	349(406)

(1)授業を受けた時間(1週間)【本学と全体】



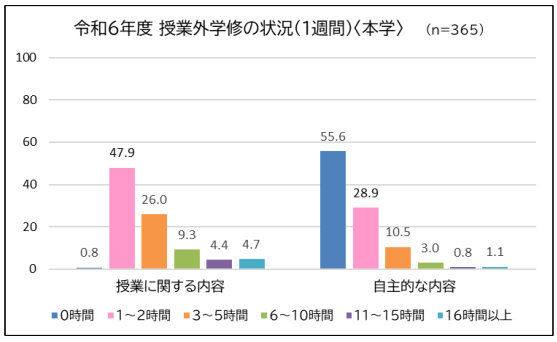


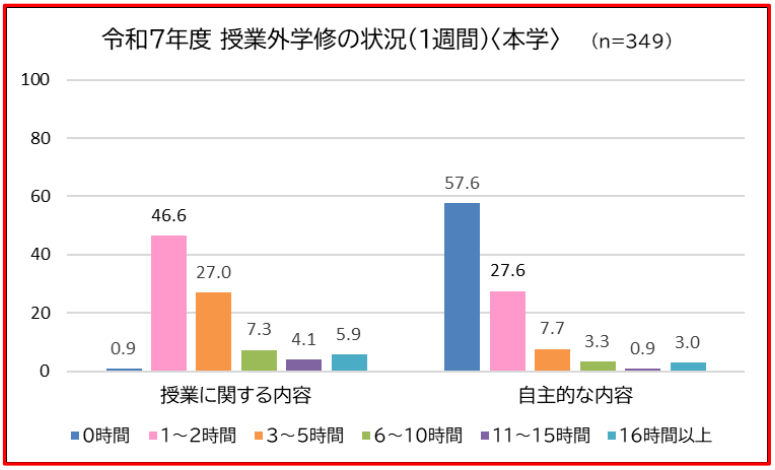


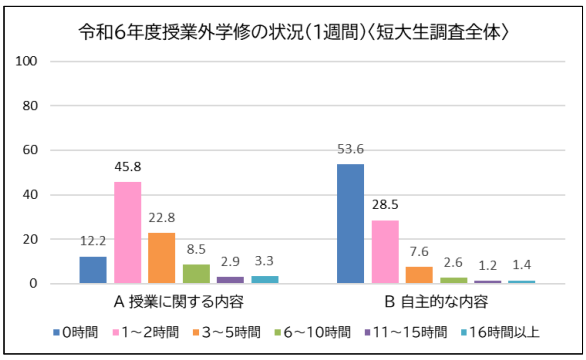


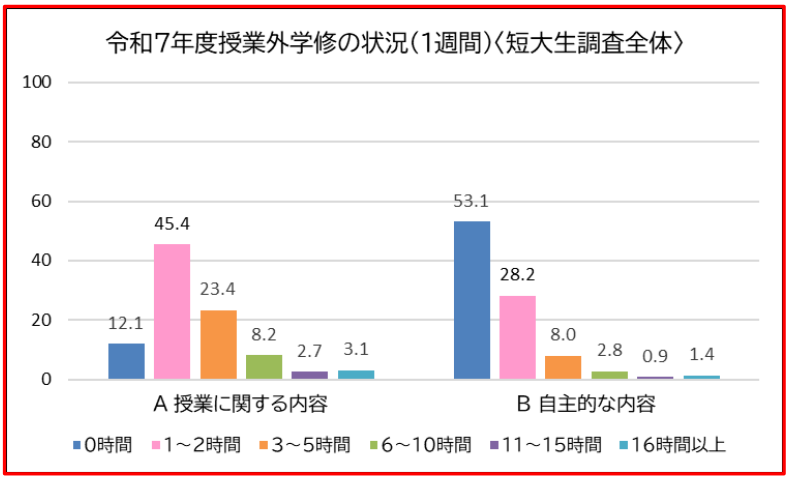
(2)授業外学修の時間(1週間)【本学と全体】

※授業に関する内容:予習・復習・課題等、 自主的な内容:その他の学修



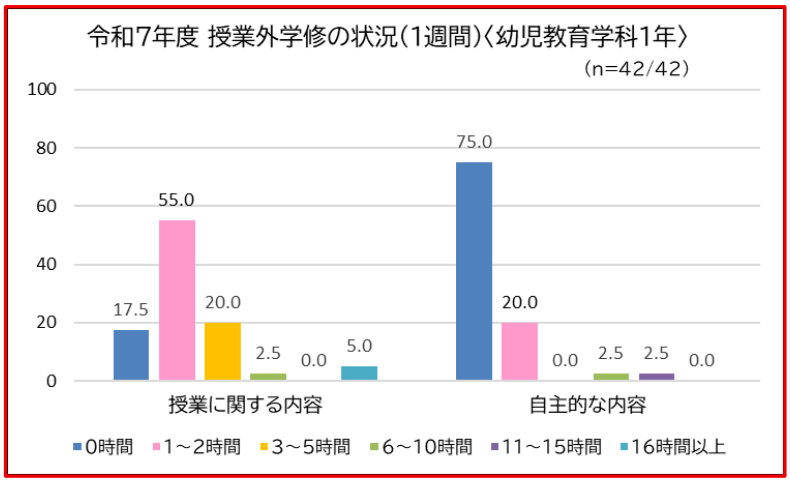


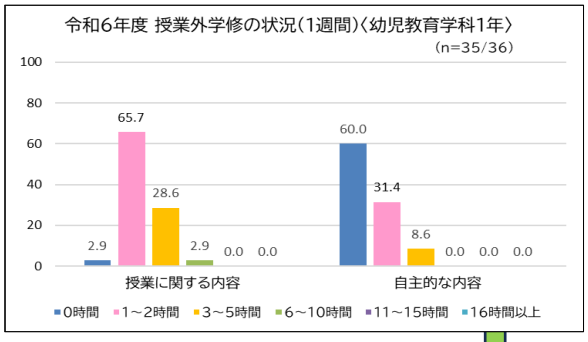


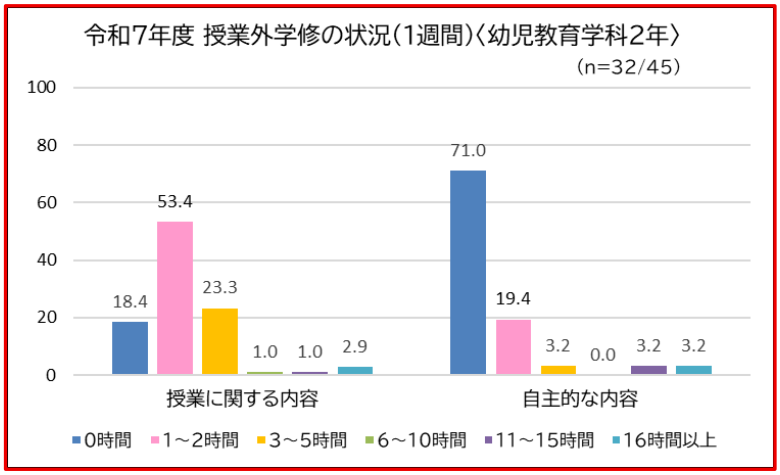


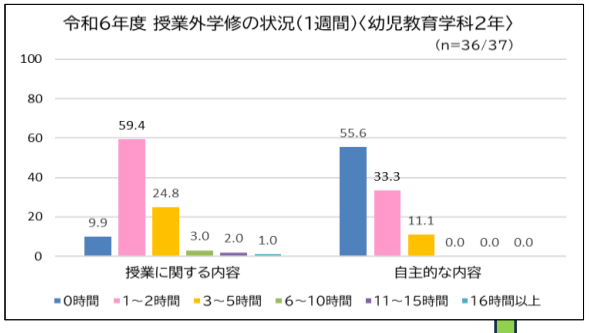
※※学科別学年別の状況※※
ア.《幼児教育学科》

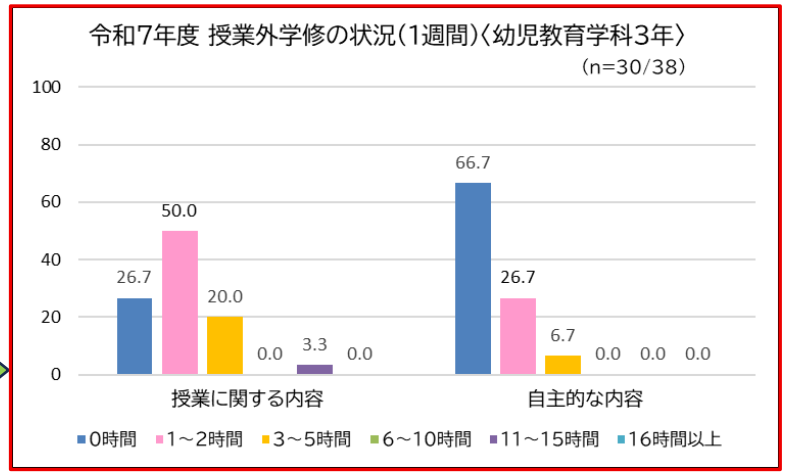
【幼教】
・授業に関する内容の学修時間が全体的に少ないが、学年が上がるにつれて増える傾向あり。
・自主的な内容の学修時間は、3学年ともに少ない。
・2, 3年については、学年が上がるにつれて学修時間が増える傾向あり。





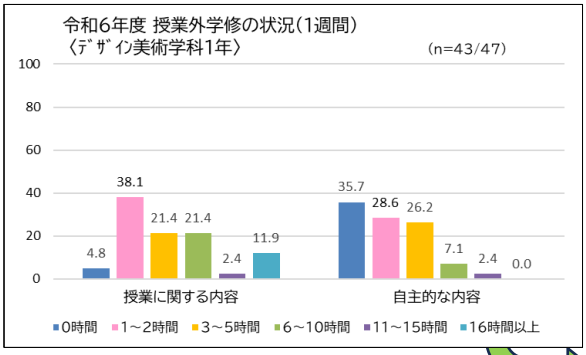


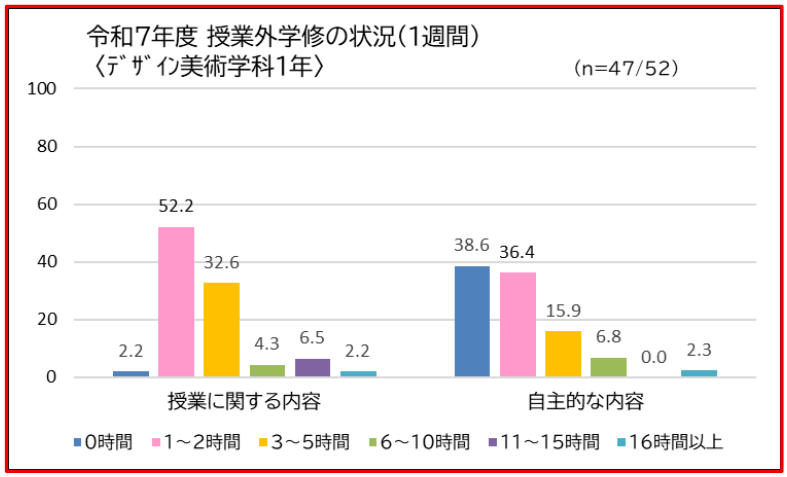


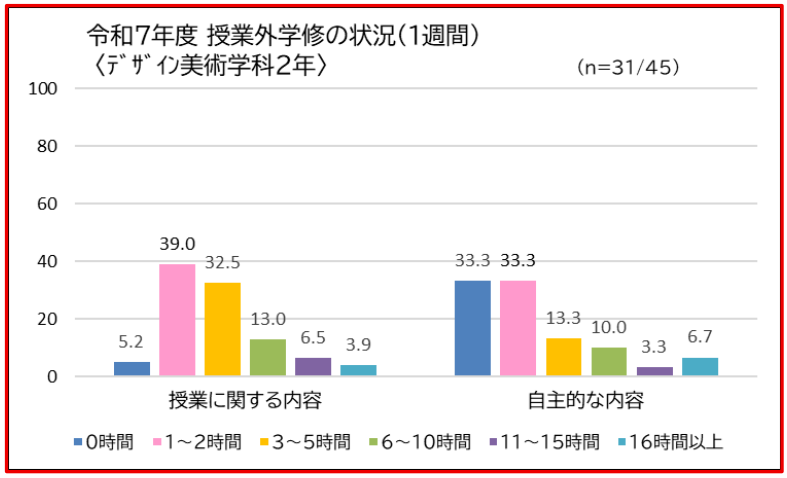


イ.《デザイン美術学科》

【デ美】
・授業に関する内容の学修時間が全体的に多く、学年が上がるにつれて増える傾向あり。
・自主的な内容の学修時間も、2学年とも多く、作品制作等に時間を費やしている傾向あり。
・学年が上がるにつれて学修時間が増える傾向あり。

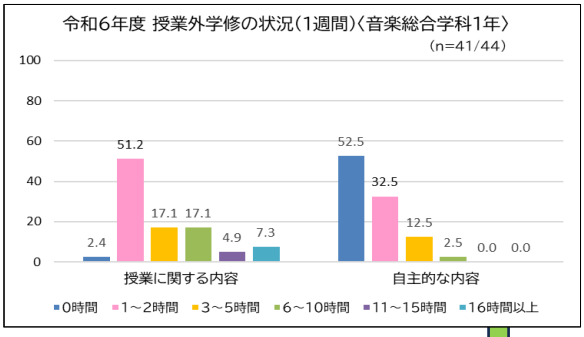


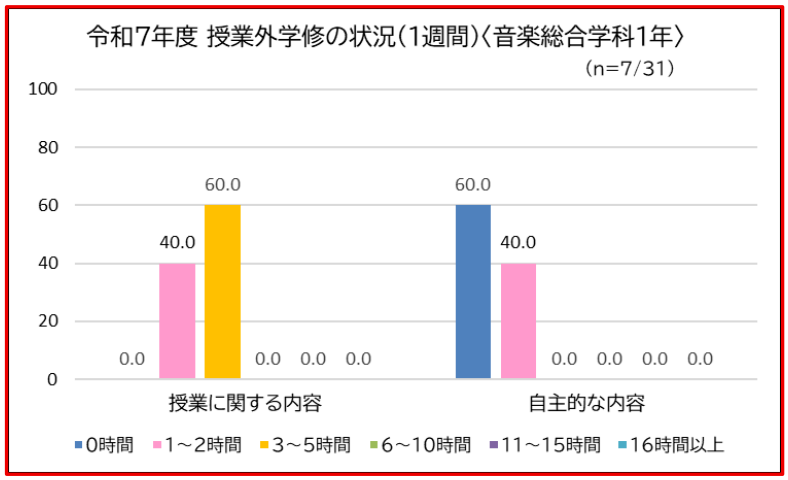


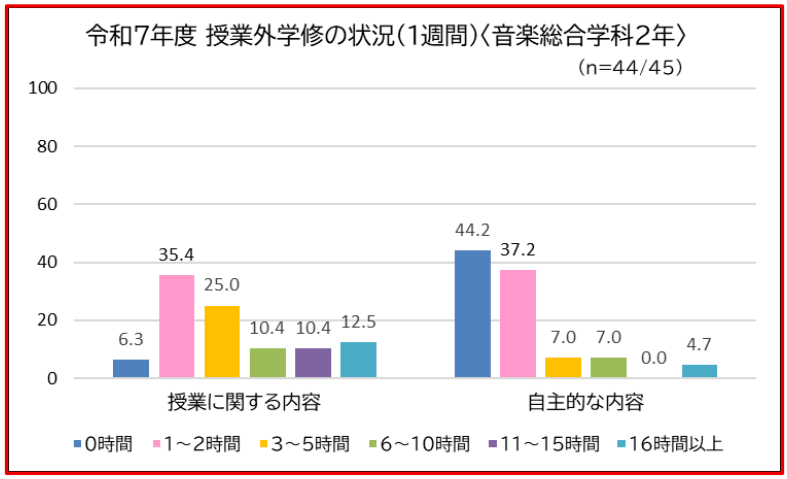


ウ.《音楽総合学科》

【音総】
・授業に関する内容の学修時間が全体的に少ないが、2年次は増える傾向あり。
・自主的な内容の学修時間も同様に、1年次は少ないが2年次に増加の傾向あり。
・学年が上がるにつれて実技練習も含めて学修時間が増える傾向あり。

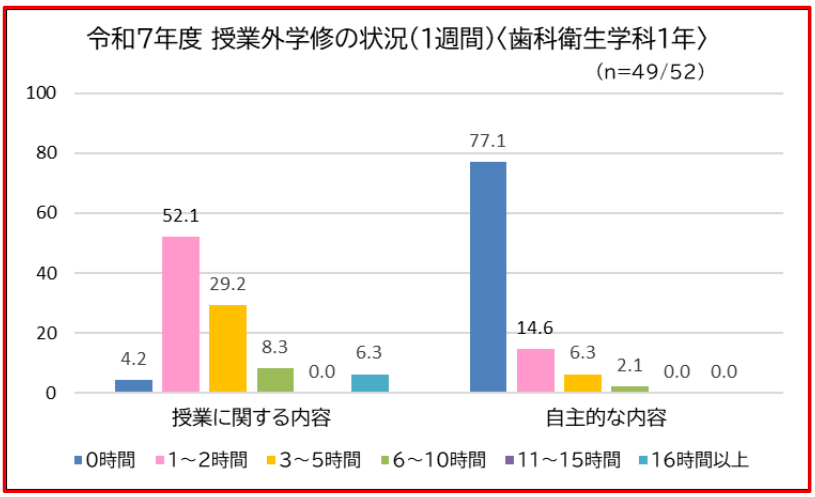


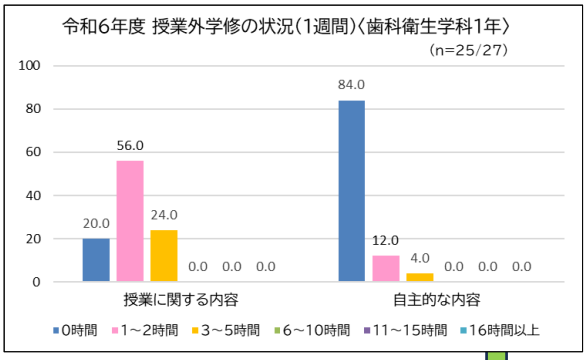


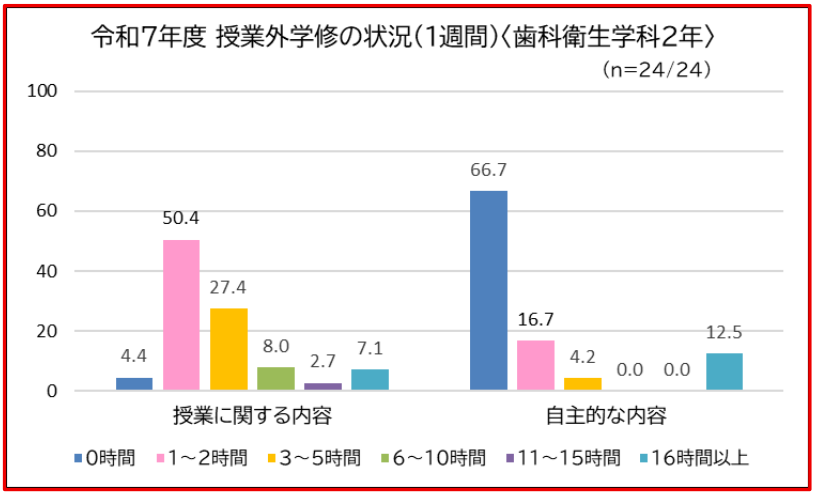


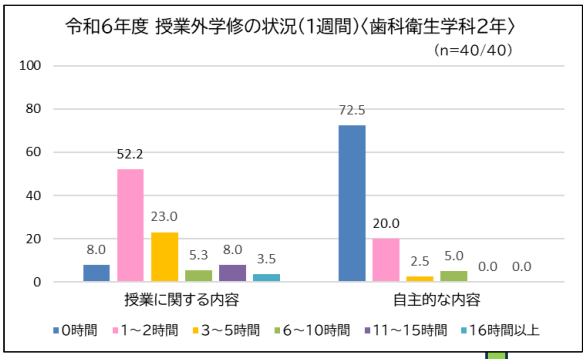
エ.《歯科衛生学科》

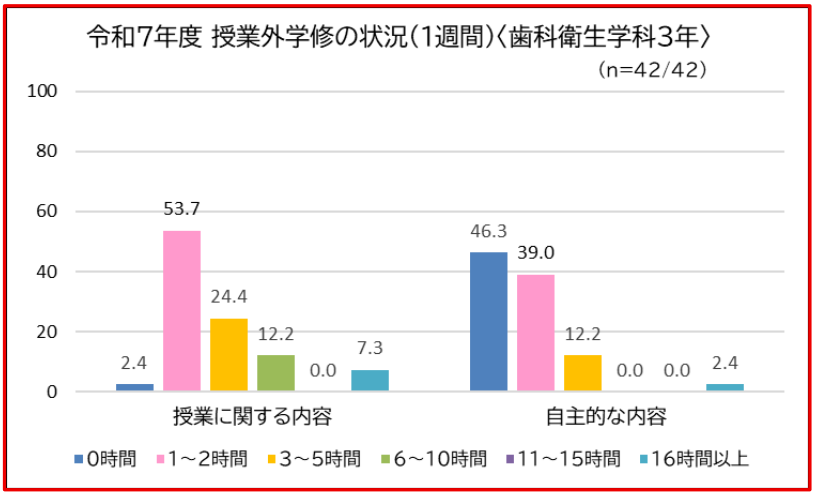
【歯科】
・授業に関する内容の学修時間が全体的に多く、どの学年も似た傾向があり、継続的に学修を進めている傾向あり。
・自主的な内容の学修時間は全体的には少ないが学年が上がるにつれ増える傾向あり。
・2, 3年については、前年度との比較から学年が上がるにつれて学修時間が増える傾向あり。











【総評】
・授業に関する内容の学修時間については、学科により特徴が異なるが全体的には取り組んでいる傾向が見られる。
・自主的な内容の学修時間は、3学年ともに少ないが、学年が上がるにつれ自主的な学修に取り組む傾向がある。
・実習や実技練習、課題作品制作等学科の特徴があるため、ひとくくりでの評価は難しいが、それぞれの学科の特徴がうかがえる結果であるととらえ、今後の学生の学びの充実に繋げていけるとよい。